大津市議会
湖誠会 議会だより vol. 8
Otsu City Assembly
KOSEIKAI NEWS
2011.7
平成23年7月4日発行
〒520-8575 滋賀県大津市御陵町3番1号　TEL.077-528-2839　FAX.077-523-2020　URL▶http://otsu-koseikai.jp

ごあいさつ

盛夏の候、34万大津市民の皆様には益々ご健勝のことと心からお喜び申し上げます。

最初に、このたびの東日本大震災において被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられました方々とご遺族の皆様に対しお悔やみを申し上げます。さらには、被災地の一日も早い復旧・復興を心より祈念いたします。

さて、今春の統一地方選挙では、我われ湖誠会所属の議員に対しまして、市民の皆様から絶大なるご支持と温かいご支援を賜り、ここに衷心より厚く御礼申し上げます。

お蔭さまで、今期も議員12名（新人議員3名）で湖誠会を結成することができ、引き続き市議会最大会派としての重責を担うこととなりました。

会派議員一同、改めて初心に立ち戻り、大津市に住んで良かったと実感できる街づくりを目指して、新たな気持ちでスタートする決意でございます。

すでに「おおつ市議会だより」でお知らせしておりますが、5月の臨時市議会におきまして、我が会派から北村正二議長と竹内基二監査委員を輩出するとともに、常任委員会や特別委員会でも会派議員が正副委員長の重職に選出されました。

北村議長をはじめ、各役職議員が先頭に立ち、市民の皆様のご期待にそえるよう日々研鑽を重ね、市政発展のために会派全員で一致協力して取り組んでまいります。

最後に、大津市の更なる発展と市民の皆様のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げますとともに、今後とも湖誠会ならびに会派議員へのご支援ご協力を何とぞ宜しくお願い申し上げます。

幹事長　竹内 恩夫

前列右より
竹内 基二議員
北村 正二議員
竹内 照夫議員
武田 平吾議員
津田 新三議員

後列右より
伴 孝昭議員
中野 治郎議員
鷲見 達夫議員
青山 三四郎議員
横田 好雄議員
近藤 眞弘議員
八田 憲児議員

5月定例会

青山 三四郎議員

Q 通学路整備及び施設老朽化に伴う整備について

A 関西電力用地と南郷小学校の間に存在している道路の整備についてであるが、児童が安全に登下校できるよう、これまでから道路の整備について関係各課を交えて検討しており、今年度は学校敷地の境界確定や、道路整備のための測量、設計を行なう予定である。

南郷小学校敷地内の周囲フェンスなどの整備については、道路の設計との整合性を図りながら、今年度に実施設計を行なう予定である。国庫補助金などの財源確保に努めながら進めて参りたいと考えている。

近藤 眞弘議員

Q 瀬田地区では幹線道路の渋滞で、多くの車両が生活道路に迂回するため大変危険な状況にあり、幹線道路の整備と生活道路を安心して通行できる安全対策を要望する。

A 幹線道路については、本市は今年度、東南部地域の都市計画道路の整備計画を策定し、さらに地域の皆さんのご意見を伺い、整備路線を選定してまいりたいと考えている。

生活道路の安全対策については、歩車道分離、交差点表示、カーブミラー設置などを実施してきたが、さらに速度規制や時間帯規制など、県公安委員会や地域の皆さんと調整しながら、地域に合った対策を検討していく。

伴 孝昭議員

Q 大津市防災条例の12条、また結の安心プランでも重点事業計画に上げている自主防災組織の推進は、災害における共助の観点からも、地域の防災力を高めていくために重要な組織である。そこで、自主防災組織の育成に向けた今後の取り組みについて伺う。

A 発災時に学区自主防災組織との連携がスムーズに行えるよう育成指導していきたい。また、東日本大震災を教訓に、時代を担う人材の育成を視野に入れ、様々な年齢の方に参加いただける訓練や、避難所運営ゲーム等マンネリ化防止のための新しい手法の訓練等を取り入れながら、現在行なっている。補助金制度については、活用しやすい制度となるよう逐次見直しを図りつつ、継続事業として推進していく。

鷲見 達夫議員

Q 本市独自の「スクールガードガイドライン」の特色ある取り組み及び活動最前線の方々への労をねぎらう諸制度と情報の提供について伺う。

A 鷲見議員からの質問を受け本市で「スクールガードの手引き」を作成し、「無理せず、できる時間に、できるやり方で」を合言葉に取り組んでいるが、さらに手引きの周知徹底を図っていく。一律の制度を作るより、特色ある学区の取り組みを他学区にも紹介していく。より多くの方々に情報が行き渡るようメール配信システムの登録を増やしたい。

中野 治郎議員

Q 今年度から小学校5年生と6年生の英語教育が必修となり、外国語指導助手いわゆるALTの派遣が実施されているが、本年までの取り組み成果と、ALTは子どもたちに効果的な役割が果たせているか。ALTと小学校教諭の連携について尋ねる。

A 平成21年度、平成22年度の成果はALTから習った英語のゲームや歌で楽しむ姿が見られた。ALTの派遣契約に変更した事により、事前に授業の進め方が確認でき共同授業が可能となった。子どもたちが自然な英語に直接触れることが何より重要で、体験を通して言語や文化に対する関心を高めており、ALT活用による成果は上がっている。今後教員の授業力や資質の向上をはかりALTが十分活用されるよう努める。

八田 憲児議員

Q 国では「安心生活創造事業」を施行し、地域包括支援センターとは別に、地域づくりのコーディネーターを中学校区に配置する取り組みが打ち出された。本市の次期高齢者福祉計画における地域づくりでは、具体的にどのような方針かを伺う。

A ご提案の地域コーディネーターは、国が新たに示した取組であるが、こうした見守りの仕組づくりをより効果的に進める上で、潤滑油の役割を果たしうるものと認識しており、地域を選んでモデル事業を実施するなど、本市における有効性などを検証しながら体制整備を進め、助け合い、支え合いの地域づくりに向け、第5期高齢者福祉計画策定時に、具体的な検討を進め効果的な事業に結び付けていく。

公職選挙法により、議員による時候の挨拶状・寄付行為などは禁止されています。ご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

新しい湖誠会です！ 皆様と共に大津に活力!!

竹内 基二（たけうち もとじ）

- 監査委員
- 生活産業常任委員会委員
- 地球温暖化対策特別委員会委員

〒520-0836 大津市杉浦町19番16号

北村 正二（きたむら しょうじ）

- 議　長
- 教育厚生常任委員会委員

〒520-0528 大津市和邇高城270番地の28

竹内 照夫（たけうち てるお）

幹事長

- 議会運営委員会委員長
- 総務常任委員会委員
- 地球温暖化対策特別委員会委員

〒520-0802 大津市馬場一丁目８番19号

八田 憲児（はった けんじ）

幹　事

- 総務常任委員会委員
- 地球温暖化対策特別委員会委員

〒520-0027 大津市錦織三丁目15番31号

中野 治郎（なかの じろう）

幹　事

- 議会運営委員会委員
- 教育厚生常任委員会委員
- 地球温暖化対策特別委員会委員

〒520-0113 大津市坂本三丁目11番37号

津田 新三（つだ しんぞう）

副幹事長

- 議会運営委員会委員
- 生活産業常任委員会委員
- 防災対策特別委員会委員

〒520-0242 大津市本堅田五丁目９番15号

鷲見 達夫（すみ たつお）

- 生活産業常任委員会委員長
- 観光振興対策特別委員会委員

〒520-0843 大津市北大路一丁目11番32号

青山 三四郎（あおやま さんしろう）

副政調会長

- 総務常任委員会委員長
- 観光振興対策特別委員会委員

〒520-0865 大津市南郷一丁目４番９号

武田 平吾（たけだ へいご）

政調会長

- 施設常任委員会委員
- 防災対策特別委員会委員長

〒520-0247 大津市仰木二丁目23番14号

横田 好雄（よこた よしお）

- 総務常任委員会委員
- 防災対策特別委員会委員

〒520-2273 大津市羽栗三丁目13番５号

伴 孝昭（ばん たかあき）

- 施設常任委員会副委員長
- 防災対策特別委員会委員

〒520-0043 大津市中央四丁目11番９号

近藤 眞弘（こんどう まさひろ）

- 教育厚生常任委員会委員
- 観光振興対策特別委員会副委員長

〒520-2144 大津市大萱二丁目23番14号

平成23年5月市議会定例会でこんな議案が「可決」されました。

この議案は葬儀事業のあり方検討委員会の最終報告を受け平成22年度末で自宅葬、平成23年度末でホール葬を廃止し、指定管理者制度を導入するもので、葬儀ニーズに応えるため「規格葬儀」を導入するとしています。湖誠会は市民の皆様の立場で安心な葬儀が実施されるよう、これからも担当部局にはたらきかけて参ります。

議案第77号　大津市斎場条例の一部を改正する条例の制定について

平成24年度から、葬儀事業及び斎場事業を見直すものです。主な内容は

1. 市営葬儀を廃止する。
2. 志賀聖苑に新たに葬祭場を設置する。
3. 大津市葬祭センターの葬祭場の施設を大津聖苑の付属施設として位置づける。
4. 志賀聖苑及び大津聖苑の管理を指定管理者により行なわせることとする。
5. 動物炉の利用に係る料金を動物の重量に応じた金額設定に改める。

東日本大震災に関する意見書が「可決」されました。

「東日本大震災の復興支援と総合的な復興ビジョン策定を求める意見書」は大津市議会全会派賛成にて可決しました。一日も早い生活再建と被災地の復旧・復興を願っています。

「東京電力福島第一原子力発電所」事故の収束を始め、国及び政府において以下の対策を緊急に行なうことを強く求めています。

主な内容は、

1. 被災者の救援・被災地の復興支援の復興支援策を早急に実施すること。
2. 歴史上類例を見ない災害であるため、既存制度の枠組みを超える対策を実施すること。
3. 復興にあたっては被災者の生活再建を基本とした復興ビジョンの策定をすること。

東日本大震災大津市の支援状況について報告！市民の皆さんご協力ありがとうございます。

3月11日に発生した東日本大震災の被災地に対する支援状況について、市民の皆さんから寄せられた義援金は千件近く4千万円余りに上りました。支援物資については10トントラック3台分相当が被災地に搬送されました。又、宮城県石巻市へは保健師の派遣を始め、岩手県陸前高田市へ応急給水活動の継続や市民病院の医師・看護師・理学療法士を医療救護班として福島県会津若松市に派遣するなど5月末時点で1，397名が使命感を持って支援業務にあたっております。なお、市民の皆さんから寄せられた支援物資を被災地に搬送時総務部危機管理監を現地に派遣し、本市職員が被災地支援を行なっている各市の災害対策本部を訪問するなど支援活動に鋭意取り組んでいます。

大津市議会と致しましても市民の皆さんの安全安心の確保のために、今回の未曾有の大災害を教訓とし、より一層の危機感をもって、さらなる防災対策の充実に努める必要があると認識し防災危機管理対策に関する諸問題を調査項目とする「防災対策特別委員会」を立ち上げ調査研究に取り組みます。

平成22年度の各会計決算見込みについて、大津市33年連続の黒字決算

一般会計は中期財政計画と行政改革プランの取り組みを着実に実行するなど、さらなる経費の抑制と効率化に務めた結果、実質収支は33年連続の黒字決算となる見込み。

特別会計・国民健康保険事業特別会計は実質収支、単年度収支とも黒字決算となる見込みで、他の特別会計についても、概ね収支均衡が図れる見込みとなるようだ。

企業会計では病院事業会計では10年ぶりの診療報酬の増額改定により入院収益が増え、人件費や材料費等の費用が減少したことにより、約2億300万円の黒字決算となる見込みであり、水道事業会計、下水道事業会計、ガス事業会計ともに黒字決算となる見込みだ。

今後とも湖誠会では、行財政の健全性の確保と行政評価・施策評価の導入や事務事業の見直しなど意見を申し述べてまいります。